

# 第5回 Wakayama HF ALERT

日時：2023年6月1日（木）19:00～20:25 会場：和歌山城ホール 4階「大会議室」

**Opening** 19:05-19:10

北山健医院 院長 北山 健

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター 准教授 谷本 貴志  
総合座長  
和歌山県薬剤師会 副会長 岩城 久弥

**Session1** 19:10-19:40 薬剤師の薬薬連携、薬剤師の多職種連携

「心不全チーム医療の一員としての薬剤師の役割 -薬薬連携に向けて-」

演者 和歌山県立医科大学附属病院 薬剤師 栩野 絵里香

和歌山県立医科大学附属病院 7階西病棟 副看護師長 向井 美紀

コメンテーター ・大河内医院 院長 大河内 啓史

・和歌山労災病院 薬剤部 心不全療養指導士 稲葉 静香

・紀三井寺カイセイ薬局 薬局長 長谷川 浩平

**Session2** 19:40-20:25 高齢心不全患者の退院支援、地域包括ケアシステム

「介護支援専門員(ケアマネ)が地域で暮らす心不全罹患者の  
生活・介護面の問題点をどう捉え、どう支援していくのか」

演者 日本赤十字社和歌山医療センター 看護部 心不全看護認定看護師 和田 直子

コメンテーター ・橋本市民病院 循環器内科 部長 九鬼 新太郎

・和歌山県介護支援専門員協会 和歌山支部 副支部長 小長谷 恭史

・居宅介護支援事業所たんぼぼ 所長 中谷 ゆかり

・セントケア和歌山株式会社 居宅介護支援 ケアマネジャー  
一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 理事 並木 弘子

**意見交換会** 20:30-20:40

(敬称略)

197名にご参加いただきました

主催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社  
後援：和歌山心不全地域連携の会/和歌山市医師会内科部会

# 第5回 Wakayama HF ALERT

## 抄録

### Session1 薬剤師の薬薬連携、薬剤師の多職種連携

高齢心不全患者さんの心不全療養における薬剤師の役割を考えます。病院薬剤師は、調剤や服薬指導などの病棟業務のみならず、心不全チーム医療の一員としての活躍が期待されています。さらに近年では、地域連携の一つとして薬局薬剤師との薬薬連携が重要とされています。病院薬剤師や薬局薬剤師の活動を紹介するとともに、薬薬連携や多職種地域連携を推進していく上での薬剤師の役割を考えます。

### Session2 高齢心不全患者の退院支援、地域包括ケアシステム

心不全患者さんの医療と介護のかかわりに焦点を当てます。心不全は、食事や身体活動など普段の生活の中で悪化することも多く、医療と介護の両面から適切な支援を行い、再入院を防ぐ必要があります。そのためのキーワードは、患者さん（利用者さん）を『治し、支える』です。ケアマネージャーを含む介護職と医療職との連携・協同をどう進めていくか。介護職と医療職の相互理解が深まることで多職種地域連携につなげていきたいです。

### 意見交換会 ※会場参加者対象

心不全診療は病院内外の専門職同士の連携が鍵になるのは間違いないところですが、実際、面と向かって話し合う機会はほとんどありません。相互理解にギャップがあると話も進みにくく、患者さんが困ってしまいます。コロナ後これからは正念場です。意見交換会では、薬薬連携、退院支援、地域包括ケアについてのギャップを埋め相互理解を深めていければと考えています。